

## 平成27年度 学校経営の改革方針

### 杉の子特別支援学校

#### I 目指す学校像（基本理念）

##### ◇ 一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす

- 1 一人ひとりの教育的ニーズや障がい特性に応じ、その可能性を伸ばす教育活動の充実
- 2 一人ひとりの自立や社会参加をめざした一貫性のある教育の構築
- 3 教職員間の対話・会話を大切にした組織力の向上
- 4 共生・共学の推進
- 5 防災対策・防災教育の推進
- 6 人権感覚あふれる学校づくりの推進

#### II 現状と課題

##### 1 現状

本校は鈴鹿病院に入院している児童生徒を対象とした特別支援学校（養護学校）として開設された。平成20年度、新たに知的障がいの課程を設置し、鈴鹿市、亀山市在住の通学生を受け入れた。そのため、本校には四つの課程があり、様々な障がいのある児童生徒の教育を行っている。こうしたことから教室等に全く余裕がなく、調理実習、作業学習や体育や理科の授業等で大きな制限がある。

また、平成22年度に県立石薬師高等学校内に石薬師分校を開校し、高等部の知的障がいの課程を開設した。

##### 2 課題

- (1) キャリア教育の視点に立った小中高の一貫した教育内容の充実や地域等と連携したキャリア教育の推進が必要である。
- (2) 本校と分校とがあり、本校には四つの課程があることから、本校・分校間及び課程間の連携や情報共有を図る必要がある。
- (3) 専門性の向上を図るとともに、特別支援教育における地域のセンター的機能を果たす必要がある。
- (4) 大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実を図る必要がある。

#### III 中長期的な重点目標

- (1) キャリア教育の視点に立った計画的で一貫した教育活動と地域等と連携したキャリア教育を推進する。
- (2) 学校全体で情報や課題の共有を図り、学校の組織力を高め、問題解決に取り組む。
- (3) 専門性の向上を図るため研修を推進するとともに、特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすため、地域の学校や関連機関と協働し、効果的な支援を進める。
- (4) 大地震等を想定した防災対策、防災教育を推進する。
- (5) 学校運営の効率化を図り、総勤務時間の縮減に努める。

## IV 行動計画

(1) キャリア教育の視点に立った計画的で一貫した教育活動と地域等と連携したキャリア教育を推進する。

**【進路部】【研修部】** キャリア教育プログラム、アセスメントシート、個別の指導計画の定着をはかる。

(取組状況の指標) 説明会の実施 (4月) アセスメントシートのチェック (4~5月と年度末)、アセスメントシートやキャリア教育プログラムを参考にしながら個別の指導計画様式1の記入 (4~5月と年度末) と、様式2 (4~5月、随時各学期見直し、年度末) の記入。

(達成状況の指標) 年間のスケジュールにのっとり実施できる。

**【進路部】** 地域の福祉事業所と連携した研修会を通して、児童生徒の卒業後を見通した日々の教育活動を推進する。

(取組状況の指標) 各課程の進路にあう事業所見学会の実施 (8/6, 8/7)、事業所との懇談会 (11/19)

(達成状況の指標) 事業所見学会で教職員の3分の1以上の参加。

**【支援部】** 保護者と連携し、新しい個別の教育支援計画を作成し活用する。

(取組状況の指標) 保護者への趣旨説明文書案内とアンケートの実施。作成活用にあたって教職員の共通理解を図るための説明会実施。

(達成状況の指標) 作成し活用した結果、意見 (活用度使いやすさなど) を集約し、より使いやすいものに検討する。

(2) 学校全体で情報や課題の共有を図り、学校の組織力を高め、問題解決に取り組む。

**【指導部】** 児童・生徒の緊急時の対応について、情報の共有と再発防止を図る。

(取組状況の指標) 保健衛生関係の情報共有。

(達成状況の指標) ・吐物等処理マニュアルの改訂と提示

・保健衛生関係物品の保管・管理についての提示

**【人権交流部】** 人権教育推進計画の整備。

(取組状況の指標) 人権推進計画の整備を行う。

(達成状況の指標) 年間計画にのっとり実施し、見直しを行う。

(3) 専門性の向上を図るため研修を推進するとともに、特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすため、地域の学校や関連機関と協働し、効果的な支援を進める。

**【支援部】** 国立特別支援教育総合研究所の講義配信システム活用による専門性の向上。

(達成状況の指標) 学校として講義配信システムが利用できるようにし、教職員に発信していく。

(取組状況の指標) 5月中に教職員全員が視聴できるようにする。

**【研修部】教職員の研修ニーズを把握し、研修会を開催する。**

(取組状況の指標) 「応用行動分析」「肢体不自由の障がいに関する知識や教育支援」の研修会を開催する。

(達成状況の指標) 事後のアンケートで、「研修を受けて向上した」とする回答が60%以上

(4) 大地震等を想定した防災対策、防災教育を推進する。

**【防災委員会・総務部】保護者の協力を得て学校での引き渡し訓練、スクールバス緊急停車時の引き渡し訓練を実施し非常時に備える。**

(取組状況の指標) 1学期に第1回の引き渡し訓練(学校)、2学期に第2回(スクールバス)の引き渡し訓練を行う。

(達成状況の指標) 第1回では引き渡しを行った児童生徒数を全体の75パーセント以上、第2回では引き渡し訓練該当児童生徒の80パーセント以上とする。

(5) 学校運営の効率化を図り、総勤務時間の縮減に努める。

**【運営委員会】定時退校日への取り組み。**

(取組状況の指標) 月に1回定時退校日を設定するとともに、5時に退校できるよう会議を終わらせる。

(達成状況の指標) 主な会議について5時までの終了60%をめざす

**【運営委員会】行事の見直しを行う。**

(取組状況の指標) 行事ごとにアンケートを実施し、学部・分掌において職員保護者より意見の多かった行事を見直す。

毎月の◎運営にて1か月を振り返り、見直す行事はないか検討する。

(達成状況の指標) 行事の見直し3件以上。